

外国特許トピックス

2021年7月
特許業務法人 志賀国際特許事務所
(外国事務部 加藤基志)

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
外国特許出願に関し、最近のトピックス等をお知らせいたします。

2020年の欧州特許出願統計

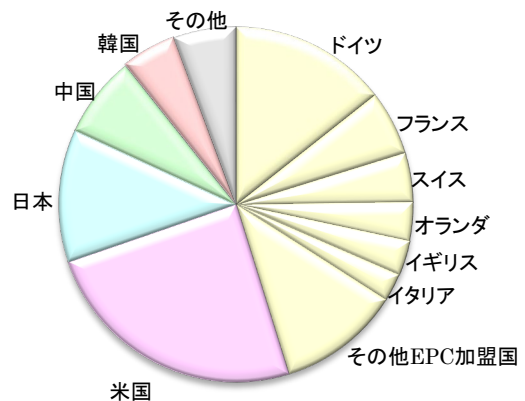
2020年における欧州特許出願統計が欧州特許庁より公表されました。今回はこの公表された情報に基づき、欧州特許出願の概況について紹介いたします。

1. 出願件数

2020年欧州特許出願件数は180,250件と発表されました。これは前年(確定数値181,532件)との比較で0.7%減でした。ルート別内訳では、通常出願ルートが73,464件(前年比3.1%減)、PCTルートが106,786件(前年比1.0%増)でした。

2. 上位出願国(10ヶ国)

順位	国名	2020年	前年比(%)	全体占有率
1	米国	44,293	-4.1%	24.6%
2	ドイツ	25,954	-3.0%	14.4%
3	日本	21,841	-1.1%	12.1%
4	中国	13,432	+9.9%	7.5%
5	フランス	10,554	+3.1%	5.9%
6	韓国	9,106	+9.2%	5.1%
7	スイス	8,112	-1.9%	4.5%
8	オランダ	6,375	-8.2%	3.5%
9	イギリス	5,715	-6.8%	3.2%
10	イタリア	4,600	+2.9%	2.6%
-	その他EPC加盟国	20,133	+1.9%	11.2%
-	その他	10,135	-0.1%	5.4%
	合計	180,250	-0.7%	100.0%



2020年の出願上位10ヶ国は上記のとおりです。欧州特許庁は、新型コロナウイルスのパンデミック下にもかかわらず、出願総件数は微減にとどまり全体的に安定していたが、内容は米国、欧州主要国、日本に拠点を置く企業からの出願件数減少が、中国と韓国の企業からの出願件数の継続的な増加により相殺されたと分析しています。

技術分野別の出願件数において、最も出願件数が多い上位3分野は医療技術(14,295件/前年比+2.6%)、デジタル通信(14,122件/前年比+1.0%)、コンピュータ技術(13,097件/前年比+1.9%)でした。新しいワクチンや治療法、診断装置や医療機器の医学研究への投資が増え、前年比でバイオテクノロジーは6.3%、医薬品は10.2%増加しました。これに対し、航空および自動車関連は景気が後退し、輸送関連技術が5.5%減少したほか、機械工学などの分野も減少しています。

3. 上位出願人(10社)

順位	出願人名	国名	2020年	前年比(%)
1	SAMSUNG GROUP	韓国	3,276	+14.6%
2	Huawei Technologies Co. Ltd	中国	3,113	-11.7%
3	LG GROUP	韓国	2,909	+3.3%
4	QUALCOMM, INC.	米国	1,711	+2.6%
5	L M ERICSSON AB	スウェーデン	1,634	+1.1%
6	SIEMENS AG	ドイツ	1,625	-28.9%
7	ROBERT BOSCH GMBH	ドイツ	1,597	+6.6%
8	SONY	日本	1,477	-2.3%
9	ROYAL PHILIPS	オランダ	1,419	-8.0%
10	BASF	ドイツ	1,305	-4.5%

出願人別上位件数はHuaweiが前年より減少し、SAMSUNGが首位に躍り出ました。Huaweiは主戦場のデジタル通信分野の出願件数においても前年比17.3%減少の1,868件となりました。

欧州諸国のHuawei対応は注目を集めています。一方で、欧州は新型コロナウイルス後の復興のカギとして多分野でのデジタル化を目指しています。次世代

通信規格「5G」は端末の通信速度や画質の向上のほか、運輸、医療、建設、教育など多方面のビジネスモデルのデジタル化を促進するインフラ提供が見込まれます。Huaweiは5G関連の特許を多く所有しているため、Huaweiの通信技術は5Gインフラの導入に必要とされる場面が多くなります。しかし、他方で、米国政府はHuawei製品が中国政府による情報窃取に使われ得るとの理由から同製品の排除を呼びかけ、イギリス政府がこれに乗りました。スウェーデン政府も5GにおけるHuaweiと中国通信企業ZTEの製品を排除する方向を示しました(ドイツとフィンランドは重要な通信インフラに関する規制を強めつつ中国製品排除は明示しない方針です)。現時点で、欧州諸国の多くは米国、イギリスに同調気味です。

欧州において2つの異なる方向性をどのように進めていくかにより今後のHuawei欧州出願件数が左右されると思われます。Huawei製品の排除が進むと、競合する欧州企業のERICSSONやNOKIA(2020年出願件数826件/第16位)に躍進の機会が訪れるかもしれませんので、こちらも注目してまいります。

以上